

2025年3月号

四万十図書館だより

発行*四万十市立図書館



春色なごやかな季節、皆さまにはご清祥のことと存じます。

本館では、年に一度の蔵書点検を行います。3月3日から7日まで休館となりますのでご注意ください。また、新生活に向けてのお引越しや年度末でお忙しい時期とは思いますが、返却予定日までに本を返却していただくようご協力をお願いします。



3月図書館情報

本館

子ども映画会

「映画おしりたんてい さらば愛しき相棒よ」

日時 3月16日(日) 10:30~(開場10時15分)

対象 3歳以上(未就学児は保護者同伴)

定員 30席程度

申込 不要

参加費 無料

※詳細はお電話か図書館カウンターまで

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

→休館日

一般展示

「テレビノムコウ」

芸能人の著書やテレビに関連する本を
展示します。

場所：一般展示コーナー

一般郷土展示

「郷土博物館との合同展示『まちの
灯り』関連資料展示」

博物館で行われている「まちの灯り」に
関連した本を展示します。

場所：一般郷土展示コーナー

児童展示

「こども図書館だよりの
おすすめの本 2022~2024」

「こども図書館だより」で紹介した本
を展示します。

場所：児童展示コーナー

ティーンズ展示

「中高生のあなたへ贈るえほん」
中学生・高校生になっても楽しめる絵
本、大人向けの絵本を展示します。

場所：ティーンズ展示コーナー

新着本紹介

小説	『目には目を』 新川 帆立
『泡の子』 樋口 六華	『ものごころ』 小山田 浩子
『嵐をこえて会いに行く』 彩瀬 まる	『山本周五郎〈未収録〉ミステリ集成』 山本 周五郎
『Nの逸脱』 夏木 志朋	『令和忍法帖』 青柳 碧人
『かぶきもん』 米原 信	アンソロジー
『虚傳集』 奥泉 光	『あえのがたり』 加藤 シゲアキ 他
『※個人の感想です』 伊藤 朱里	『竜と蚕』 大倉 崇裕 他
『コミケへの聖歌』 カスガ	エッセイ
『雫峠』 砂原 浩太郎	『有吉佐和子ベスト・エッセイ』 有吉 佐和子
『C線上のアリア』 湊 かなえ	『そんなときは書店にどうぞ』 瀬尾 まいこ
『しらゆきの果て』 澤田 瞳子	『三島由紀夫対談集尚武のこころ』 三島 由紀夫
『氾濫の家』 佐野 広実	『遊行期』 五木 寛之
『星の教室』 高田 郁	外国文学
『骨を喰む真珠』 北沢 陶	『動物工場』 ノヴァイオレット・ブラワヨ
『魔法を描くひと』 白尾 悠	『バベル 上・下』 R. F. クアン
『港たち』 古川 真人	『両京十五日 1・2』 馬 伯庸

人生訓	医学
『生きのびるための事務』 坂口 恭平	『開業医の正体』 松永 正訓
『移動する人はうまくいく』 長倉 顕太	『看護師の正体』 松永 正訓
『今日、誰のために生きる? 2』 ひすい ことろう 他	『整形外科専門医が教える100年歩けるカラダの作り方』 陣 彦善
宗教	『糖と脂で体は壊れる』 米井 嘉一
『かくれキリシタンの起源』 中園 成生	料理
『修験道大系』 宮家 準	『食べきりサイズで作るジャムの本』 田中 博子
旅行	『トーストの発想と組み立て』 ナガタ ユイ
『熊野古道参拝旅完全ガイド』	農林水産業
『るるぶグアム '26』	『多年生雑草対策ハンドブック』 伊藤 操子
『るるぶ奈良 '26』	『農家が教える田畑の排水術 2』 農文協
『るるぶニューヨーク 2025』	『レモン』 三輪 正幸
経営・ビジネス	手芸・クラフト
『kintone 完全マニュアル』 中村 徹 他	『製本家とつくる紙文具』 永岡 綾
『決算書』 川口 宏之	郷土
『フリーランスビジネス大全』 大坪 拓摩	『土佐風流踊と歌謡の歴史』 出井 幸男

四万十市立図書館 利用案内

開館時間・休館日 午前9時～午後7時／館内整理日(毎月最終金曜日)・年末年始・蔵書点検期間など
 貸出規則 図書10冊(2週間)／雑誌5冊(2週間)／DVD・ビデオ2点(2週間)
 定期的なイベント おはなし会(毎週日曜日 10時20分～／場所：おはなしの部屋)
 ※夕方・土日祝日駐車レーンを確保しています (守衛棟北側縦列駐車3台分)